

都留市地名考 その十一

窪田 薫

○大幡・加畑・古渡

『甲斐国志』に、大月市猿橋町幡野に祀る八幡神社の由来について、「大昔何処からか大幡が一旒空から飛んできて、此所に止まったので八幡神社を建てた。都留市の『大幡』、『加幡(畑)』、『大月市の幡(畑)倉』など皆この幡の暫し止まった地」と記してあり、大幡についても、「大昔何処からともなく一旒大幡が舞ってきたので祀り、村名もこれから起った」とある。

その後、幡野の八幡神社が火災にあった時、幡が自ら飛び出して相模国(神奈川県)の日向薬師に留ったとのことである。

古代相模国の秦野、伊勢原地方には、七、八世紀頃朝鮮国からの渡来人秦河勝の一族が、朝廷の命により移住し、その一部が甲斐都留郡に分住したと考えられる。

分住のためのコースは、丹沢山の東麓を回り、奥牧野から秋山往還を通して朝日久保(都留市)―鈴が音峠―朝日小沢―幡野(大月市猿橋町)に至り、さらに此所を拠所として大月市の畑倉、都留市の大幡、加畑、古渡(江戸時代は小幡)に分散居住したことが考えられる。

現在も伊勢原市の日向薬師には「幡掛けの松」があり、山門(二王門)の石段下に秦氏族の祀る白髭神社がある。

また、秦野市の養毛には秦氏が建立したという大日堂、不動堂、地藏堂が祀ってあるが、都留市中津森の観音に、大日如来(座像)、不動明王(立像)、地藏菩薩(立像)の三石仏が祀られており、新羅伽耶系の渡来人(秦氏族)を通して、古代相模国の秦野、伊勢原地方と甲斐都留郡との深いかわりのあることを物語っている。

中津森に祀る大日・不動・地藏の三石仏



芸術の祭典

「文化祭」行われる

11月1日から3日まで、文化会館を中心に「文化祭」が開催されました。年に一度の芸術の祭典とあって、どれも劣らぬ力作が目白押し。訪れた人の目をなごませていました。



文化祭受賞者

小学生短歌入賞者

文化祭賞

相川大輔 (東桂小六年)

入選

木村真美 (谷一小六年)

宮井麻衣子 (〃〃)

山口貴子 (〃〃)

齋藤和行 (東桂小六年)

滝口真由 (〃〃)

長田裕子 (〃〃)

小学生俳句入賞者

文化祭賞

宮下由紀 (東桂小六年)

入選

鈴木隆仁 (谷一小六年)

田辺幸一 (東桂小六年)

仲野真一郎 (〃〃)

酒井 梓 (東桂小六年)

白井貴将 (〃〃)

渡辺正史 (〃〃)

杉本里奈 (〃〃)

天野敏行 (〃〃)

三枝いずみ (〃〃)

小学生詩入賞者

入選

あまのまさひろ(谷一小一年)

おおのかおる (〃〃)

珠久弘章 (谷一小六年)

小野寺真弓(東桂小六年)

大沼徹也 (〃〃)

鈴木奈々 (〃〃)

小林和子 (〃〃)

渡辺明子 (〃〃)

一般の部入賞者

文化祭賞

さつき盆栽の部 長田 誠

詩吟の部 平井ともゑ

俳句の部 藤江竹水

短歌の部 駒田菊子

菊花の部 小池佑二

文化功労者

詩吟部門 和智昭次

趣味部門 外川真穂

大正琴部門 小笠原ふさ

華道部門 齋藤佳子

文化祭俳句大会受賞者

市長賞 小林 幹

議長賞 河村愛子

教育長賞 安富きのえ

文協会長賞 小林 幹

俳連会長賞 国井美代子

ふるさとの

十二月



1日 高尾神社例祭(高尾町)

8日 針供養

21日 冬至

24日 クリスマス・イブ

25日 クリスマス

31日 大晦日法要(除夜の鐘)

1月1日 初詣

都留七福神めぐり (7日まで)

4日 消防出初式

(合村第一小学校校庭)